

# 袋井東地区

構成自治会連合会：  
袋井東一、袋井東二



交通アクセスが良好で自然と歴史文化に恵まれた地域です。地区内の人々のつながりが強く、行事や防災活動も活発に行われています。季節のイベントや歴史資源など観光資源も豊富で魅力ある地域です。

## 現状 (SWOT 分析「強み」から)

1. JR 愛野駅や国道 1 号バイパスが近く、交通アクセスが良好で、市役所・警察署も近く、災害時の安心感も高い地域です。
2. 旧東海道の久努の松並木、油山寺、富士浅間宮など、自然と歴史・文化資源が豊富です。
3. 住民同士の顔が見える関係性があり、世代を超えた交流が活発なため、祭りやかつもくフェスタなど、コミュニティ活動が盛んです。
4. 自主防災隊や「いのちを守る防災隊」による避難所運営や女性防災など、防災活動が活発です。
5. 小学校と幼稚園の連携が強く、少人数でのびのびと遊べる保育・学習環境が整っています。
6. 田んぼを中心に、農業を活かした地域づくりが進められています。
7. 工場移転に伴う、大規模跡地の開発計画が期待されます。

## 課題 (SWOT 分析「弱み」から)

1. 洪水や液状化のリスクがあり、地盤の弱さなど、避難体制や防災面に不安があります。
2. 医療・介護・商業・子育てなど、日常を支える施設が求められています。
3. 地域タクシーは運行されているものの、基幹交通が弱く、狭い道路や道路状態の不良など、通学・移動に改善の余地があります。
4. 少子高齢化で子どもが減少、高齢化率も上がっており、地域活動の担い手不足が課題です。
5. 子どもの遊び場や支援が不足しており、小中学校までの距離が遠い地域があります。
6. 地域の大半を優良農地が占め、多面的な地域開発に制約があります。また、高齢化により農地管理が困難になり、農地転用も難しいため、農業集落の維持が厳しくなっています。
7. 魅力ある観光資源の発信力強化や施設整備が求められています。

## 人口推移



## まちづくりの方針図



## スローガン 目指すまちの姿

恵まれた歴史・地域資源を活かし、  
住民の強い絆でつながる防災意識の高いまち

## まちづくりの推進方針

### 1. 地域の絆と連携で進める、総合防災・治水対策のまちづくり

「地域の課題は地域で解決する」まちづくり協議会の理念のもと、官民が協力し、地域の防災力を高めるために、総合的な災害・水害対策を推進します。多世代間の交流やつながりを強化し、安心して暮らせるまちを目指します。

### 2. 地域資源と多様な交流で築く、にぎわいとやさしさのあるまちづくり

恵まれた歴史資源や地域の魅力を活かし、主要道路などの立地を活かした活性化を進めます。子どもから高齢者まで、誰もが住みよい環境づくりを通じて、にぎわいとやさしさのあるまちを目指します。

## 地域内の取組

- 地域イベントや祭り、防災活動の継続実施によるつながりや一体感づくり
- 「子ども刮目倉」などの寺子屋や農業体験で、子どもと高齢者をつなぐ場の創出
- 子ども 110 番やスクールガードボランティアなど、「TEAM 刮目」の活動をはじめとした子どもを守る仕組みづくりと地域とのつながり強化
- 草刈りなどの困り事をイベント化し、若者や外国人の参画促進
- 高齢者の買い物支援のため「移動販売」の導入と、それに付随する見守り居場所づくり活動
- まちづくり協議会を事業別に組織体制化、「地域活性化委員会」をシンクタンクとして位置づけ
- 全 12 自治会が参加した「自治会懇談会」を開催、PDCA サイクルによる成果検証
- まちづくり協議会の運営のため、仕組みづくりと事業別マニュアルの作成
- まちづくり協議会の1年間の事業成果報告のため、「住民大会」の開催

- 幼保小が連携した教育の推進と袋井東小学校やコミュニティセンターを核とした地域拠点づくり
- 「久努の松並木愛護会」が行政と情報共有し、役割分担して旧東海道の松並木の保存と活用
- 伝統芸能の保存と活用(富士浅間宮の田遊び祭)
- 隣接地区を含めた広域的な「治水協議会」が、行政へ治水・防災事業の要望・提言
- 国本廃家電対策事業

- ◇ 市道太郎平新道国本線整備事業
- ◇ 市道東同笠山線整備事業
- ◇ 沖之川排水区整備事業
- ◇ 県と市が協働した原野谷川治水対策事業
- ◇ 防災重点農業用ため池耐震豪雨対策事業
- ◇ 地域タクシー事業

○ まちづくり協議会が主導する取組 □ 協働による取組 ◇ 行政が主導する取組

## 地域のみなさんの声 (取組を進める上で参考となる意見など)

- 共働き世帯の増加により預かり保育へのニーズが高まっている。今後は幼稚園機能だけでなく、幼保連携型認定こども園など、時代のニーズに合わせた子育て環境の充実と地域とのつながりを維持する仕組みや組織を機能させることが大切である。
- エコバ来訪客を取り組んで、地域の企画やイベントへの集客を図りたい。
- 公会堂を指定避難所として活用できないか。自宅から近い場所にあり、今の避難所が災害状況により受け入れが難しい場合に有効だと思う。
- 大和ハウスの跡地利用により、地域活性化につなげたい。
- 水害対策や田んぼダムの活用による防災力強化が必要ではないか。
- 歩きやすい道路や歩道の整備、主要道路の安全管理を希望する。交通インフラも充実してほしい。
- 袋井東地区の立地条件はよいが、人口減少率が高い。最低限の人口確保と利便性の維持を図る必要がある。
- 平時からのコミュニケーションが災害時にも有用。防災と福祉の仕組みづくりに行政も参加を。
- 計画の PDCA の見える化を強化する必要がある。

まちづくり協議会主導

行政主導